

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	イノベーション創出促進事業			事業番号	015-053
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	中百舌鳥イノベーション創出拠点担当 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②中小企業による新事業の創出		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数		
		寄与するKPI	有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)	目標値	100件(2021～25年度の累計)
		有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.3	
		有	取組	創業準備のサポートと創業間もない企業の成長促進			
		有・無	指標名	女性の就業率			
		有	現状値	49.8%(2019年度)	目標値	53.0%(2023年)	
2	関連計画	堺市産業戦略					
3	事業開始年度	平成 4 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内外のスタートアップやベンチャー企業、中小企業等	対象数	単位	
			-	-	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺・中百舌鳥の持つイノベーションのポテンシャルを広く周知し、域外へのイノベーション発信、域外からのイノベーション流入を促進し、人の交流、コトの創出を活性化させ、イノベーションのスパイラルを生み、イノベーション創出拠点の設置に向けた下地づくりを行う。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>○社会課題解決型イノベーション創出事業 市内外のスタートアップや市内企業、大学、支援機関を繋ぎ、社会課題解決や新たな価値創造に係るイノベーションプロジェクトの創出支援や、共感を呼ぶストーリーシートの作成、市民向けPRイベントを通じて中百舌鳥エリアのブランディングを図る。</p> <p>○交流拠点整備運営事業 国産木材等を利用し、S-Cube内に事業者やステークホルダー、起業希望者、学生など多様な人が集い、新たな出会いや交流・活動ができるコミュニティスペースを整備する。また、オンラインコミュニティを運営し、S-Cubeの交流拠点と相互に連携することで交流・共創による新しい取組や事業を生み出し、イノベーションを創出する。</p> <p>○イノベーションの担い手を対象に事業所開設の賃料を補助 堺市で生まれたイノベーション創出に資するビジネスや取組が、都心地域、中百舌鳥地域での実装、定着を目的に、本市及びS-Cubeが実施する支援施策を受けた方を対象に事業所を開設する際の賃料の一部を補助する。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	大阪公立大学、委託事業者			
10	公民連携・協働事業	スタートアップ・ベンチャー企業、大阪公立大学、学生等と連携し、イノベーション創出事業が生まれ始めている。			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	イノベーション創出につながる事業数 (累計)	件	目標値	-	25	45	100
			実績値	-	34		
達成率			-	136%			
	当該指標を選定した理由	堺市基本計画のKPI指標の一つであり、令和3～7年度の累計で100件を目標とする指標である。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画に掲げる目標値。点検年度における目標値は令和3～7年度の累計値。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	社会課題解決等のロールモデル創出 件数	件	目標値	-	10	10	
			実績値	-	15		
達成率			-	150%			
	当該指標を選定した理由	成果を上げるための手段として、社会課題解決や新価値創造等にかかるロールモデルを作成し、HPやSNS等で発信し、さらなるイノベーション創出に向け、堺市のポテンシャルを全国に向けて発信するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	年間10件×4年。令和7年度末に累計40件。					

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	イノベーション創出促進事業	事業番号	015-053
-------	---------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	0	9,599	8,446	97,776
13 財源内訳					
国支出金			4,799	3,485	13,730
府支出金					
市債					
その他（産業活性化基金繰入金、はなみどり基金）			4,800	4,961	58,570
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源					25,476
14 人件費 (b)	0	0	6,560	6,560	10,530
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	16,159	15,006	108,306

#### 事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R4	決算			
16 事業費内訳	交流拠点整備補助金	R4	決算	0	その他使用料及び賃借料（IT経費）	R4	決算	0	0
		R5	予算	44,840		R5	予算	2,112	2,112
	都心地域産業拠点強化補助金 中百舌島地域イノベーションクラスター補助金	R4	決算	0	広告料	R4	決算	847	0
		R5	予算	22,909		R5	予算	1,056	0
	交流拠点企画運営事業委託料	R4	決算	0	普通旅費	R4	決算	287	0
		R5	予算	15,300		R5	予算	879	0
	イノベーション創出促進事業委託料	R4	決算	3,990	消耗品費	R4	決算	0	0
		R5	予算	6,500		R5	予算	300	0
	大阪公立大学負担金	R4	決算	3,000	その他	R4	決算	322	0
		R5	予算	3,000		R5	予算	880	455

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		①	イノベーション創出につながる事業数
②	上記①にかかる年間経費	千円	12,006
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	571,714
備考（算出についての説明等）		①は当該年度における単年度実績額、②は当該業務に係る人件費及び事務経費を計上	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>社会課題解決型プロジェクト創出事業では12の事業者のビジネスモデル策定支援や成長のためのネットワーク構築を支援し、また、ストーリーシートでは15の市内事業者の記事作成、情報発信に取り組むなど、活動実績と照らし合わせると費用対効果が高いといえる。</p>
----	---

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>本事業に基づく取組の1つである社会課題解決型プロジェクト創出事業では、地域社会に新たな価値を創出するビジネスモデル策定支援や成長のためのネットワーク構築を支援し、新事業を取り組む事業者の創出やS-Cubeの入居につなげた。また、ストーリーシートでは、地域のライターによる市内事業者のビジネスやパーパスを取材記事として取り上げることで域内外に情報発信を行い、イノベーションを創出しやすい環境づくりにつなげるなど、本取組の成果は基本計画のKPI「イノベーション創出につながる事業数」に直結しており、KPI等へ寄与しているものと考えている。</p>
----	--